

2023年7月30日 主日礼拝 <聖餐式>

司会	①熊谷兄 ②浅井兄 ③佐々木兄(中村姉)
祈禱	
奏楽	
賛美	聖歌498番「うたいつつ歩まん」 (主はすばらしい)(神様感謝します)
使徒信条	
聖書	①② ルカによる福音書19章1～10節 (P121) ③ ガラテヤ人への手紙5章19節～6章2節 (P299)
音楽	①② 永楽教会・ホサナ聖歌隊(V)
証詞と独唱	③ ネイサン・ブルックス先生
メッセージ	①② 「イエス様のご予定」 佐々木智行副牧師 ③ 「私は『聖霊大学』の学生です」 大川従道主任牧師
賛美	「主は今生きておられる」 献金
頌栄	「それ神はそのひとり子を」(聖歌700番) アーメン
祝禱	

「わたしはあなたがたにつながついていなさい。そうすれば、わたしがあなたがたにつながついていよう。」(ヨハネ十五の四)

【大和ニュース】

☆ネイサン・ブルックス博士夫妻と2人の娘さんと2人のお孫さんを歓迎します。
(1977年に座間市に在住。毎週、大川牧師と歌舞伎町伝道をした。)

☆イギリスから後藤優子姉の娘さんと息子さんが久々に帰国されました。

・ 本日、責任役員会(12時半・シャロ館)、J.PLUS(14時半・森)。第4礼拝は大野先生。

* 今週も祈禱会を大切に！説教はなんと故ハ・ヨンジョ師「伝道すると幸せになる」

* 月1回の「断食祈禱会」。金曜9時～15時。6人の説教者。部分参加も可。

・ 土曜日は花盛り。楽しい会堂掃除(12時)、聖歌隊練習日(13時半・泉)。

* 来週の第3礼拝には、シアトルから武田考平牧師が来られます。第1と第2礼拝の説教は、38才の大川牧師(V)。就任十周年記念礼拝より。ご期待ください。

* 主日礼拝人数 ①79人(235) ②216人(189) ③359人(343) ④20人=1441人
定例祈禱会 水曜61人(145) 木曜121人(83)=410人 ※()内はYouTubeのライブ人数

石の枕

『一生感謝365日』(ジョン・クワン著・小牧者出版)はすごい本だ！

ある女性クリスチ안의証詞である。彼女は長い間、子どもができなかった。ある年、奇跡的に妊娠をした。ところが、その子どもが生まれて1歳を過ぎた時、死んでしまった。教会の皆は心配したが、驚くことが起こった。その女性は、悲しんだり絶望したりする代わりに、感謝をしたからだ。

ある金曜日の夜の礼拝で、その女性が証詞をすることになった。

「私は今まで顧みてくださった神様に感謝をささげます。1つ目、子どもを妊娠する祝福を与えてくださり感謝します。2つ目、子どもを出産する祝福を与えてくださり感謝します。3つ目、子どもを抱く祝福を与えてくださり感謝します。4つ目、子どもに乳をあげる祝福を与えてくださり感謝します。

5つ目、子どもと一緒に1年間過ごすことができ感謝します。6つ目、子どもに母親の声を聞かせてあげることができて感謝します。」

「主が、ことごとく私に良くしてくださったことについて、私は主に何をお返ししようか。私は救いの杯をかがげ、主の御名を呼び求めよう。私は、自分の誓いを主に果たそう。」(詩篇116の12～14)



私はこの本と同著者の『一生感謝』、『感謝が習慣になる21日』を熟読してから、一日400回「アバ父よ！感謝します！！」と唱えることにしている。この習慣は、天に召されるまで続けるつもりである。「マイナスは、必ずプラスになる」。私の人生には、毎週のように「奇跡、不思議、ビックリ」がついてくる。最近、ビックリが増えて、主が何かを私にさせようと考えておられると自覚している。

モーセのように老人になっても「目はかすまず、気力は衰えず」の日々を過ごしたい。10日前、1979年10月6日(37歳)に群馬県太田市の教会の宣教大会でメッセージしたテープが発見されて、そこの牧師から送られてきた。自分の44年前の説教を聴いて、2回も泣いてしまった。映像はないのだがスゴイ。過去2万回の内のトップ。“うれしくて、ありがたくって、感謝いっぱい！”

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:使徒28章～ローマ6章 Bコース:詩篇59篇～77篇